

第15次

吹田市水道事業経営審議会

第2回

本市水道事業の主要な計画と到達点について

令和6年（2024年）12月13日（金）

吹田市水道部

第15次 吹田市水道事業 経営審議会

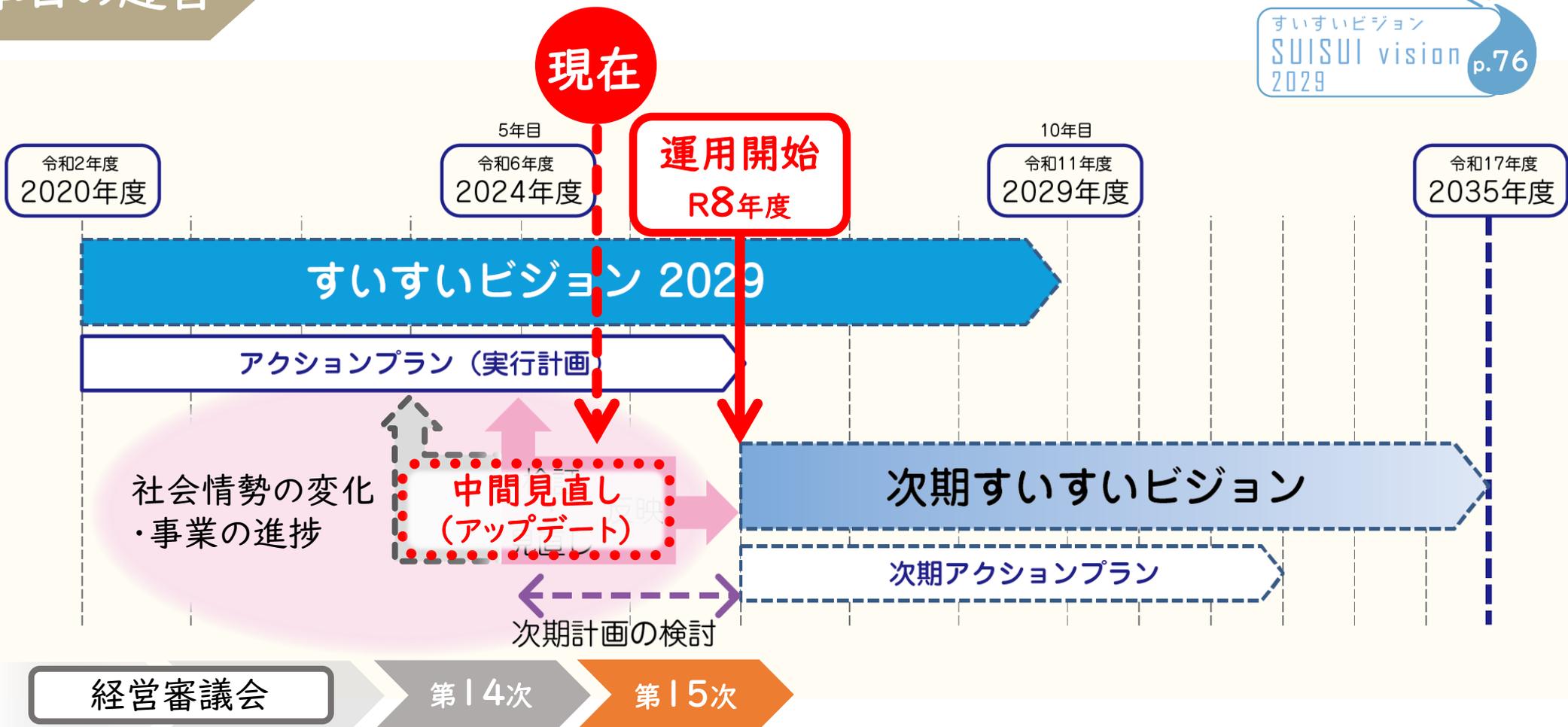
第2回

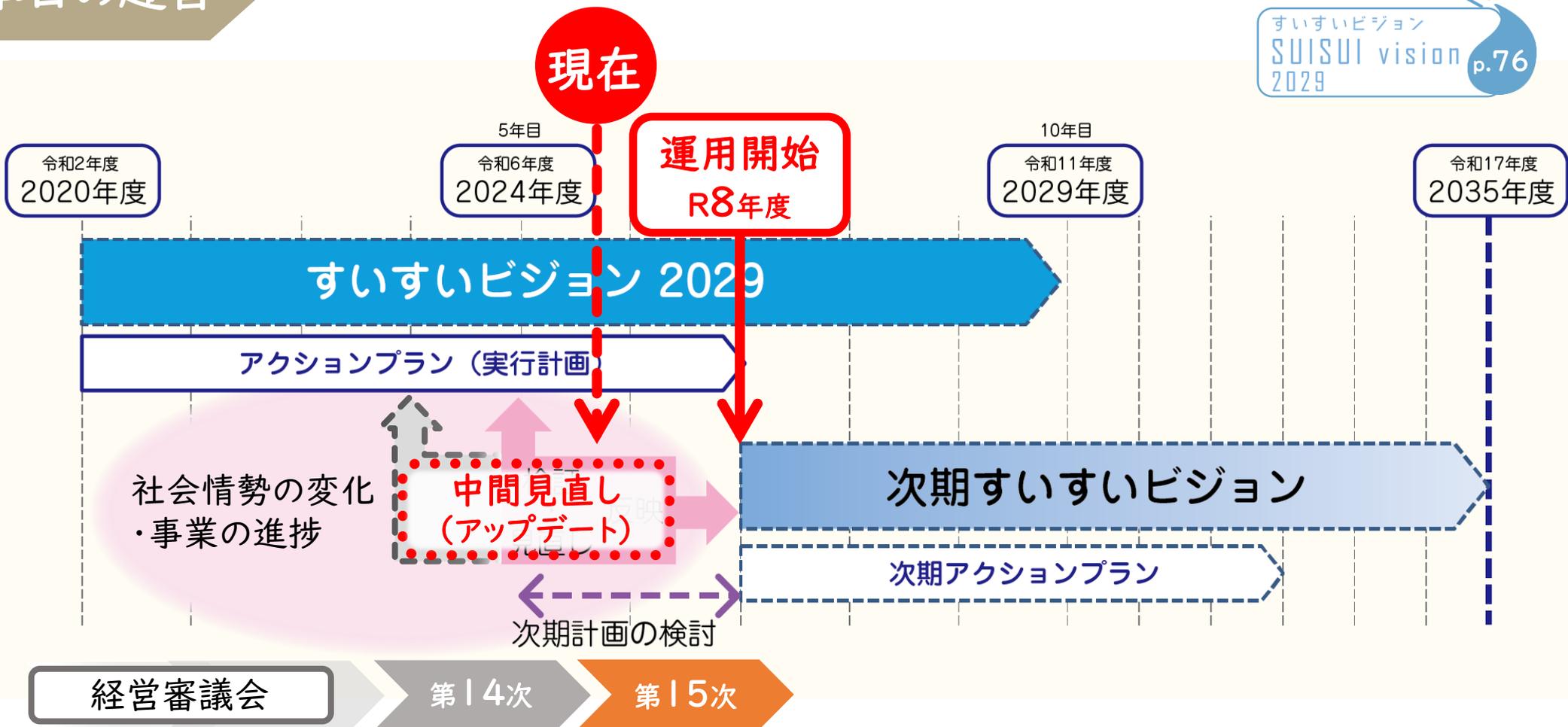
- 本日の趣旨
- 主要な計画の全体像について
 - 水道システム
 - 主要な計画
 - 実施体制
 - ビジョンの見直しに向けた
意見書(第14次)
- 現行ビジョンの4つの方針ごとの
施策と到達点について
 - 安全
 - 強靱
 - 持続
 - 地域
- 今後の予定

第15次 吹田市水道事業 経営審議会

第2回

- 本日の趣旨
- 主要な計画の全体像について
 - 水道システム
 - 主要な計画
 - 実施体制
 - ビジョンの見直しに向けた
意見書(第14次)
- 現行ビジョンの4つの方針ごとの
施策と到達点について
 - 安全
 - 強靱
 - 持続
 - 地域
- 今後の予定

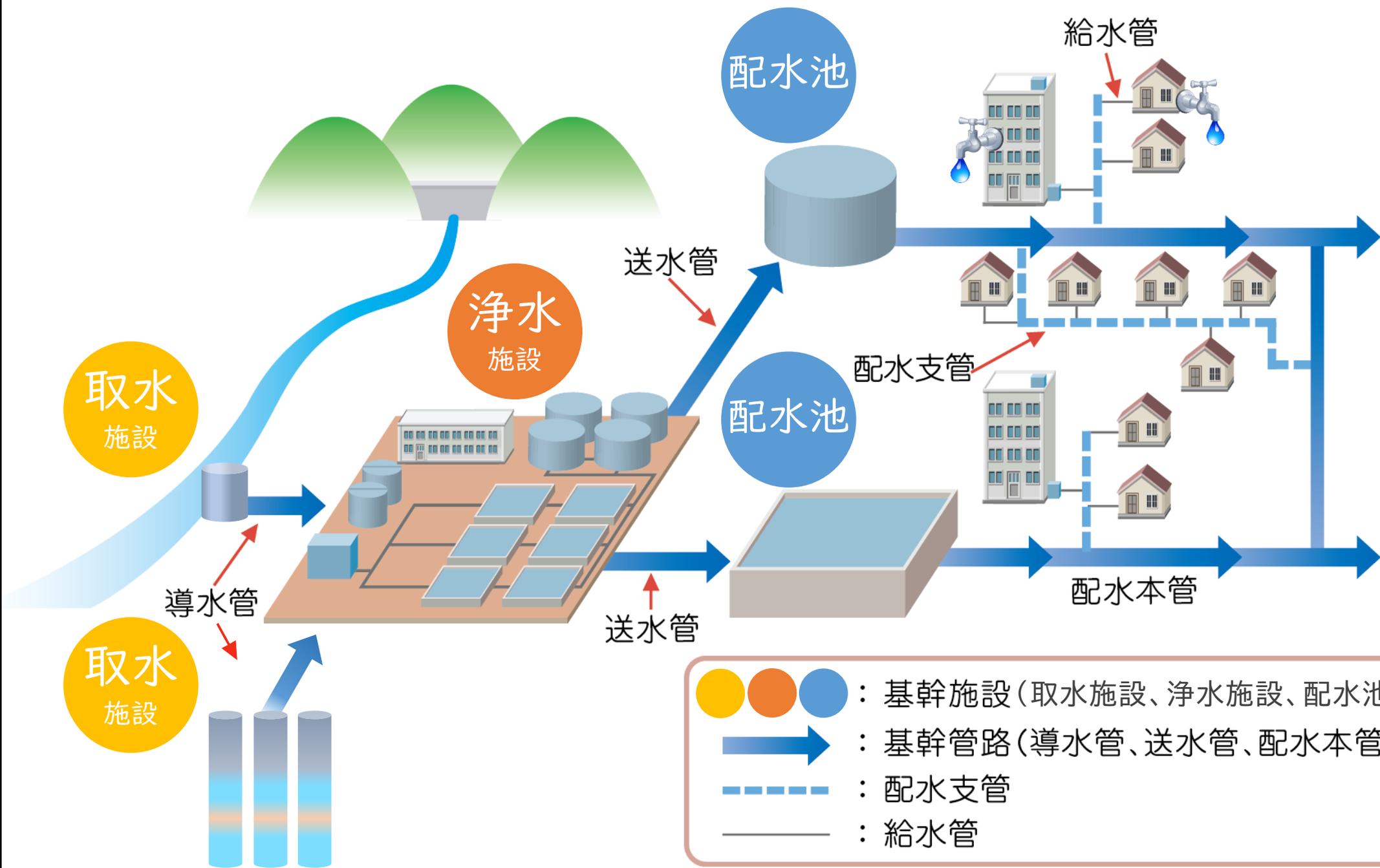




第15次 吹田市水道事業 経営審議会

第2回

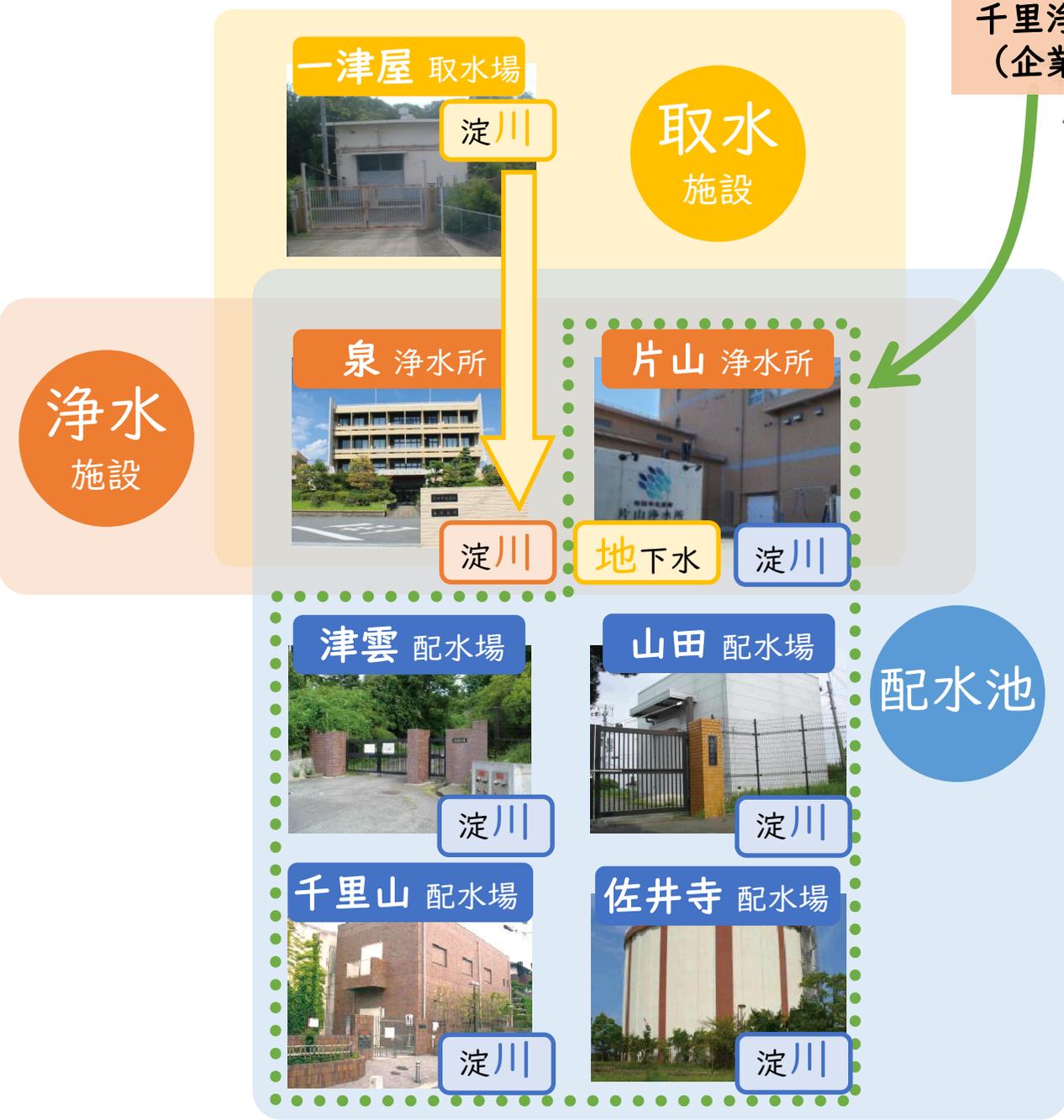
- 本日の趣旨
- 主要な計画の全体像について
 - 水道システム
 - 主要な計画
 - 実施体制
 - ビジョンの見直しに向けた
意見書(第14次)
- 現行ビジョンの4つの方針ごとの
施策と到達点について
 - 安全
 - 強靱
 - 持続
 - 地域
- 今後の予定



吹田の水道システム

R6.11末時点

- 大阪広域水道企業団送水管
- 送水管(浄水所・配水場連絡等)
- 片山浄水所・泉浄水所連絡管
- 北部地域
大阪広域水道企業団水
- 南部地域(片山浄水所配水区域)
大阪広域水道企業団水と自己水(地下水)の混合
- 南部地域(泉浄水所配水区域)
自己水(地下水と淀川表流水の混合)



主要な計画

本市水道事業の**施設整備**計画

吹田市水道施設マスタープラン

《平成25年(2013年)3月 策定》



40年先の
水道施設の将来像

本市水道事業の**基本**計画

すいすいビジョン2029

《令和元年(2019年)9月 策定》



10年間の事業計画
R 2年度(2020年度)~
R11年度(2029年度)

本市水道事業の**施設整備**計画

吹田市水道施設マスタープラン

《平成25年(2013年)3月 策定》



【水道の将来イメージ図】

理念

地域の水道として、高い**安全性**に基づいた最良にして最適な水道システムへの**再構築**

基本となる考え方

- ✓ 地震災害への対応をはじめとする**防災力**の強化
- ✓ **安心安全**の水道をより高める給水サービスの質的向上
- ✓ **環境保全**につなげる低エネルギー化の推進
- ✓ 広域化を見据えた新たな枠組みとしての**地域連携**の追求

方針(方向性と施策)

- ✓ 災害リスクを軽減する**浄水施設の再構築**と**地下水確保**
- ✓ 地形をいかす**自然流下**を基本とした送配水施設の再構築
- ✓ 拠点配水施設を中心とした**送配水ネットワークの構築**
- ✓ **給水サービスの質的向上**につながる配水管網の整備
- ✓ 災害時にも命の水を絶やさない**応急給水機能の向上**



すいすいビジョン2029

《 令和元年(2019年)9月 策定 》



すいすいビジョン
SUISUI vision
2029

p.2

基本理念

未来につなぐ 市民と育む 信頼のすいた水道

位置付け

吹田市第4次総合計画
(令和元年度~令和10年度)

厚生労働省
新水道ビジョン
(平成25年策定)
『安全』 『強靱』 『持続』

整合

具現化

すいすいビジョン2020
(平成22年度~令和2年度)

第2次上水道施設等整備事業
(平成22年度~令和2年度)

すいすいビジョン2029
(令和2年度~令和11年度)

経営戦略

施設整備計画
(第3次上水道施設等整備事業)

具体化

アクションプラン
(令和2年度~令和7年度)

「吹田市水道施設マスタープラン」
(平成25年(2013年)3月策定)
およそ40年先の将来像と施設整備の方針



すいすいビジョン2029

《 令和元年(2019年)9月 策定 》



4つの方針

安全

I 安全で安心できる
水道水の供給



- ✓ **水安全**計画の推進
- ✓ 鉛製給水管の対策
- ✓ 給水装置の適正管理

強靱

II 災害に強く、
安定して供給できる
水道施設・体制の構築



- ✓ **水源**の確保
- ✓ 施設・管路の**更新、耐震化**
- ✓ **危機管理体制**の強化

持続

III 将来にわたり
持続可能な
水道事業の経営



- ✓ **経営基盤**の強化
- ✓ **人材育成・技術**の継承
- ✓ **環境**に配慮した事業の推進

地域

IV 吹田らしさを活かした
市民に身近な
水道事業の運営



- ✓ 利用者への**サービス**の充実
- ✓ 市民への**広報・広聴**の充実
- ✓ **フューチャー・デザイン**の取組
- ✓ **市民**とのパートナーシップの推進



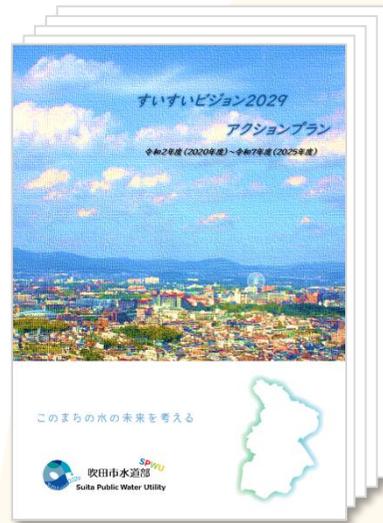
本市水道事業の**基本**計画

すいすいビジョン2029

《 令和元年(2019年)9月 策定 》

10年間の事業計画

R 2年度(2020年度)～
R 11年度(2029年度)



具体的な**実行**計画

アクションプラン

6年間の実行計画

R 2年度(2020年度)～
R 7年度(2025年度)

方針	1	安全で安心できる水道水の供給
施策	1	飲み水としての安全を守る
事業	1	高水準な浄水処理の維持・向上

具体的な取組 ③	水道GLPの認定維持	主担当	水質G
		関連部署	
		推進体制	

年次計画					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
水道GLP認定維持	水道GLPサーベイランス	水道GLP認定維持	水道GLP更新	水道GLP認定維持	水道GLPサーベイランス

方針	2	災害に強く、安定して供給が出来る水道施設・体制の構築
施策	1	ふたつの水源を守り充実を
事業	1	地下水源の充実

事業目的・概要	地底等の自然災害に強く、水質が安定した地下水源の増強、既存施設の適切な維持管理を行い、水道水の安定供給を図ります。市域南側の拠点となる片山浄水所の水源として井戸の新設、更新を実施します。	経常的な取組や今後の検討事項
---------	---	----------------

具体的な取組 ①	片山浄水所地下水源の増強	主担当	施設G
		関連部署	浄水G
		推進体制	

年次計画					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
横外井戸掘削(1本) 水位計・流量計設置(2本)	横外井戸掘削(1本)	横外井戸掘削(1本)	横外井戸掘削(1本)	-	-

方針	3	将来にわたり持続可能な水道事業の運営
施策	1	強固な経営の土台を築く
事業	1	計画の推進

事業目的・概要	「すいすいビジョン2029」に基づく各施策・事業の着実に進め、基本理念の実現を目指します。具体的な実施計画であるアクションプランをPDCAサイクルにより継続的に進捗管理し、その成果の見える化を図ります。アクションプランによる長期的な視点での資産管理や定期的な財政状況の検証を行います。	経常的な取組や今後の検討事項
---------	--	----------------

具体的な取組 ①	アクションプランの進捗管理と見直し	主担当	経営G
		関連部署	
		推進体制	

年次計画					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
・PD策、CA策による各事業の進捗確認 ・アクションプランの見直し	-	-	-	-	-
	・アクションプランの見直し	・アクションプランの見直し	・アクションプランのレビュー	・アクションプランの見直し	・アクションプランの見直し

方針	4	吹田らしさを活かした市民に身近な水道事業
施策	1	使う人に便利で快適なサービスを
事業	1	料金に係るサービスの充実

事業目的・概要	インターネットやスマートフォンアプリ等を用い、より使い性の高いサービスの検討、導入に取り組めます。また、従来から実施している高齢者声掛けサービスや認知症サポーターの取組を継続するとともに、電子申請による開閉費やコンビニ収納、口座引当制度等の周知に努めます	経常的な取組や今後の検討事項
---------	---	----------------

具体的な取組 ①	各種手続き、料金支払いの利便性向上	主担当	料金G
		関連部署	
		推進体制	

年次計画					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
・電子申請による開閉料等サービスの実施	→	→	→	→	→
・電子決済の導入 ・その他新サービス検討・導入	-	-	クレジットカード決済導入	-	-



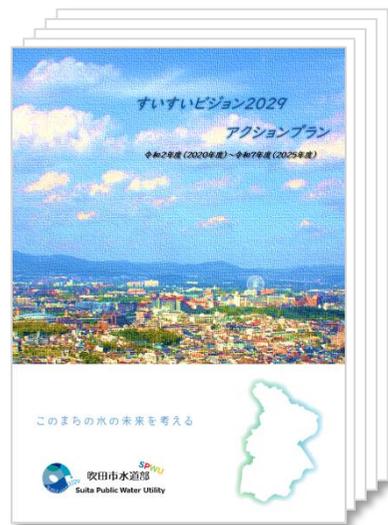
本市水道事業の**基本**計画

すいすいビジョン2029

《 令和元年(2019年)9月 策定 》

10年間の事業計画

R 2年度(2020年度)～
R11年度(2029年度)



具体的な**実行**計画

アクションプラン

6年間の実行計画

R 2年度(2020年度)～
R 7年度(2025年度)



取組状況の**可視化**

すいすいレポート

各年の点検・評価
と見直し改善

ビジョンの見直しに向けた意見書(第14次経営審議会)

令和6年9月2日
(2024年)

吹田市長 後藤 圭二 様

吹田市水道事業経営審議会
会長 原 圭史 郎

「すいすいビジョン2029の見直し」について
第14次吹田市水道事業経営審議会意見のまとめ

本審議会では、吹田市水道事業の現状と課題等への対応について議論するとともに、すいすいビジョン2029(以下「ビジョン」という。)の評価、見直しについて審議を行ってまいりました。

また、本年1月に発生した能登半島地震に伴う長期断水の状況や水道部による災害派遣の報告を受け、改めて水道の重要性を認識したほか、財政状況の振り盛りや、ビジョンの見直しについての審議の中で、各委員から様々な意見が出されました。

これまでの審議を踏まえ、将来にわたって安全な水道水の供給と持続可能な水道事業経営を目指したビジョンの見直しに向けて、本審議会からの意見として申し述べるものです。

はじめに

令和元年(2019年)9月のビジョン策定以降の5年間において、**自然災害の激甚化や頻発化に加えて、コロナ禍や物価高騰、水道行政の国土交通省への移管**など、水道事業を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。

そのような中、吹田市ではビジョンに基づき、片山浄水所を中心とした再構築事業を始めとする施設整備を積極的に進めるとともに、地域の水道として広報活動の充実などに取り組まれています。

今般、ビジョンの基本的な考え方を維持しつつ、社会情勢の変化を踏まえ新たな課題に対応するために、ビジョンの見直しに向けて検討が進められているところです。

検討に当たっては、**カーボンニュートラルを見据えた環境負荷低減、DXの推進**による事業の効率化及び水道システムの更なる強靱化など、今日的な課題に対し、吹田市としての目標や具体的な対策を示す必要があります。

水道事業は、独立採算による健全経営の持続が大原則であり、給水収益の減少など経営環境が厳しさを増す中で、経営資源を最大限に活用し、より良い事業経営に資するよう、以下に示すことについて十分留意してください。

はじめに

令和元年(2019年)9月のビジョン策定以降の5年間において、自然災害の激甚化や頻発化に加えて、コロナ禍や物価高騰、水道行政の国土交通省への移管など、水道事業を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。

そのような中、吹田市ではビジョンに基づき、片山浄水所を中心とした再構築事業を始めとする施設整備を積極的に進めるとともに、地域の水道として広報活動の充実などに取り組まれています。

今般、ビジョンの基本的な考え方を維持しつつ、社会情勢の変化を踏まえ新たな課題に対応するために、ビジョンの見直しに向けて検討が進められているところです。

検討に当たっては、カーボンニュートラルを見据えた環境負荷低減、DXの推進による事業の効率化及び水道システムの更なる強靱化など、今日的な課題に対し、吹田市としての目標や具体的な対策を示す必要があります。

水道事業は、独立採算による健全経営の持続が大原則であり、給水収益の減少など経営環境が厳しさを増す中で、経営資源を最大限に活用し、より良い事業経営に資するよう、以下に示すことについて十分留意してください。

1 飲み水の安全

(1) 今後も引き続き、水処理における水質管理を徹底し水道水の安全性を確保するとともに、安全でおいしい水のPRの充実を図りたい。

(2) 有機フッ素化合物(PFAS)や浄水処理対応固形物質などの、新たなリスク要因に対し、情報収集や適切な体制の構築を図るとともに、対応策などについて、情報発信されたい。

2 災害に強い水道施設・体制

(1) 吹田市の被害想定を示した上で、水道施設マスタープランの実現を目指し、能登半島地震等での知見を踏まえた、災害に強い水道施設・体制づくりを進めるとともに、管路の更新・耐震化事業のベースアップを検討されたい。なお、水道工事による騒音、振動及び交通規制等の生活環境への影響等にも配慮されたい。

(2) 地震等の災害の発生時には、地域住民や委託業者との連携が必要となることから、平常時から地域と連携した実効性のある訓練に取り組むとともに、定期的な設備点検を実施することにより、危機対応力の向上に努められたい。

(3) 水道施設の更新計画の策定に当たっては、将来の災害リスクを多面的に捉えるとともに、水道施設の劣化状況等の合理的な根拠をもって、施設更新の優先順位を検討されたい。

第15次 吹田市水道事業 経営審議会

第2回

- 本日の趣旨
- 主要な計画の全体像について
 - 水道システム
 - 主要な計画
 - 実施体制
 - ビジョンの見直しに向けた
意見書(第14次)
- 現行ビジョンの4つの方針ごとの
施策と到達点について
 - 安全
 - 強靱
 - 持続
 - 地域
- 今後の予定

安全

安全で安心できる水道水の供給

飲み水としての安全を守る

すいすいビジョン
SUISUI vision
2029 p.33

背景

- ✓ 水質に係る新たな知見や事事故事例
- ✓ 鉛製給水管の解消に向けた引き続きの取組
- ✓ 市指定給水装置工事事業者に係る信頼性向上
- ✓ 貯水槽水道の安全確保
- ✓ 安全性をわかりやすく伝える工夫

事業

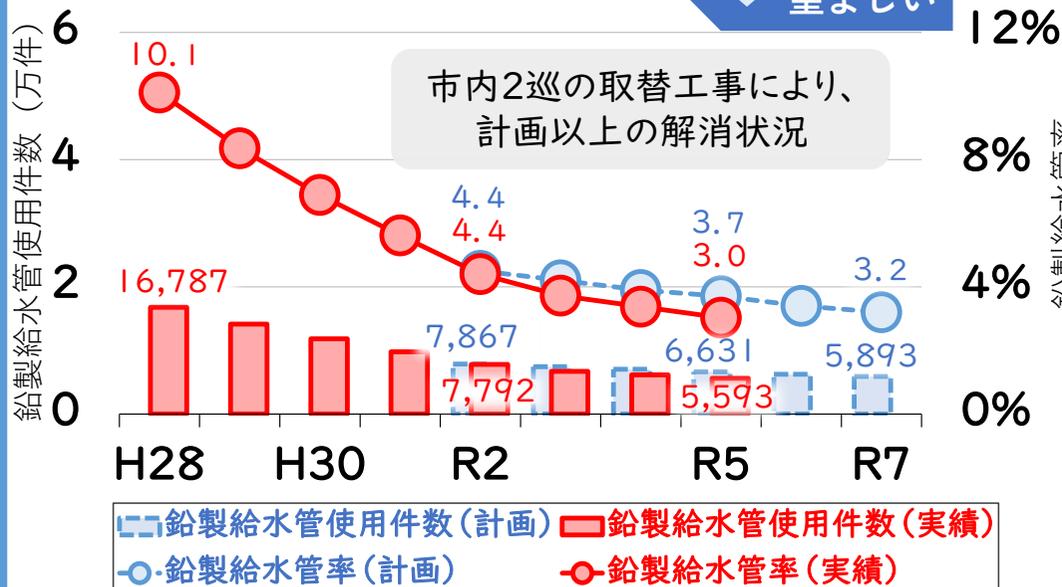
- ✓ 水安全計画や水道GLPに基づく水質管理の徹底
- ✓ 鉛製給水管解消事業 (R3~R7予定)と助成制度
- ✓ 資質向上と実態把握につながる更新制度への移行
- ✓ 小規模貯水槽水道の点検と直結給水の推進
- ✓ 水質や直結給水などの情報発信の充実



計画と到達点

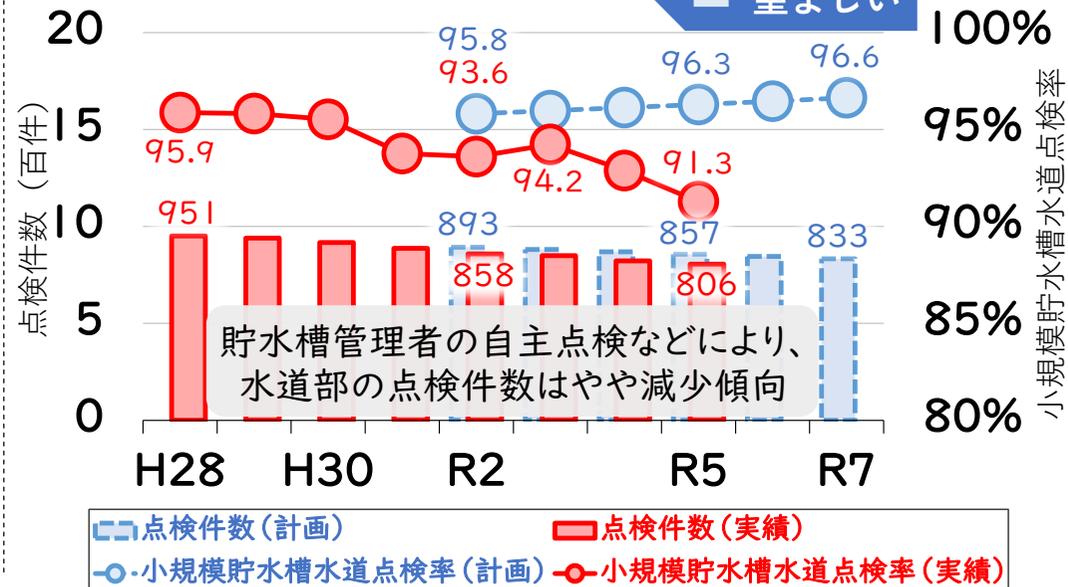
鉛製給水管率

低い方が望ましい



小規模貯水槽水道点検率

高い方が望ましい



第14次の意見書

1 飲み水の安全

- (1) 今後も引き続き、水処理における水質管理の徹底と水道水の安全性を確保し、安全でおいしい水のPRの充実を
- (2) PFASや浄水処理対応困難物質など新たなリスク要因の情報収集や適切な体制の構築を図り、対応策の情報発信を

第15次 吹田市水道事業 経営審議会

第2回

- 本日の趣旨
- 主要な計画の全体像について
 - 水道システム
 - 主要な計画
 - 実施体制
 - ビジョンの見直しに向けた
意見書(第14次)
- 現行ビジョンの4つの方針ごとの
施策と到達点について
 - 安全
 - 強靱
 - 持続
 - 地域
- 今後の予定

強靱

災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

ふたつの水源を守り充実を

すいすいビジョン
SUISUI vision
2029

p.35

背景

- ✓ リスク軽減・分散の観点から**複数水源**確保
- ✓ **地下水源**（泉・片山）は段階的整備中（片山に**機能集約**）
- ✓ 地下水源の充実に向けた新たな**場外井戸**を検討中
- ✓ **淀川水源**（泉）は受水に切替予定（スケールメリット）
- ✓ 受水管路の**耐震化**と淀川取水場の**敷地後退**への対応

事業

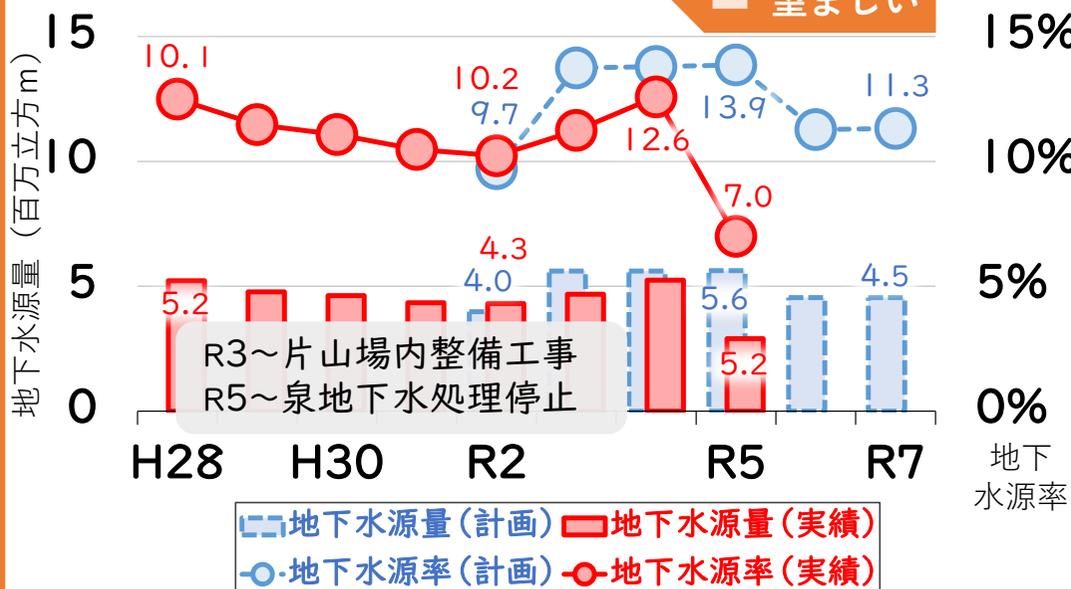
- ✓ 新たな**場外井戸**の掘削
- ✓ 既存の地下水源の**適切な維持管理**
- ✓ 淀川水源の**安定取水確保**
 - 淀川表流水の**水利使用許可更新**
 - 淀川取水場の敷地後退に係る**調整・協議**



計画と到達点

地下水源率

高い方が望ましい



地下水源

- ✓ 片山地下水の**場外井戸**は、公共施設の跡地などを活用しつつ、**2本新設 (R4・5)**
- ✓ 泉地下水はR5処理停止

淀川水源

- ✓ 水利使用許可はR4更新
- ✓ 淀川表流水の**取水地点**は、淀川取水場から**一津屋取水場へR6変更**

第14次の意見書

2 災害に強い水道施設・体制

(1) 水道施設マスタープランの実現を目指し、能登半島地震等での知見を踏まえた、**災害に強い水道施設**を

強靱

災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

片山浄水所を中心とした整備を進める

すいすいビジョン
SUISUI vision
2029

背景

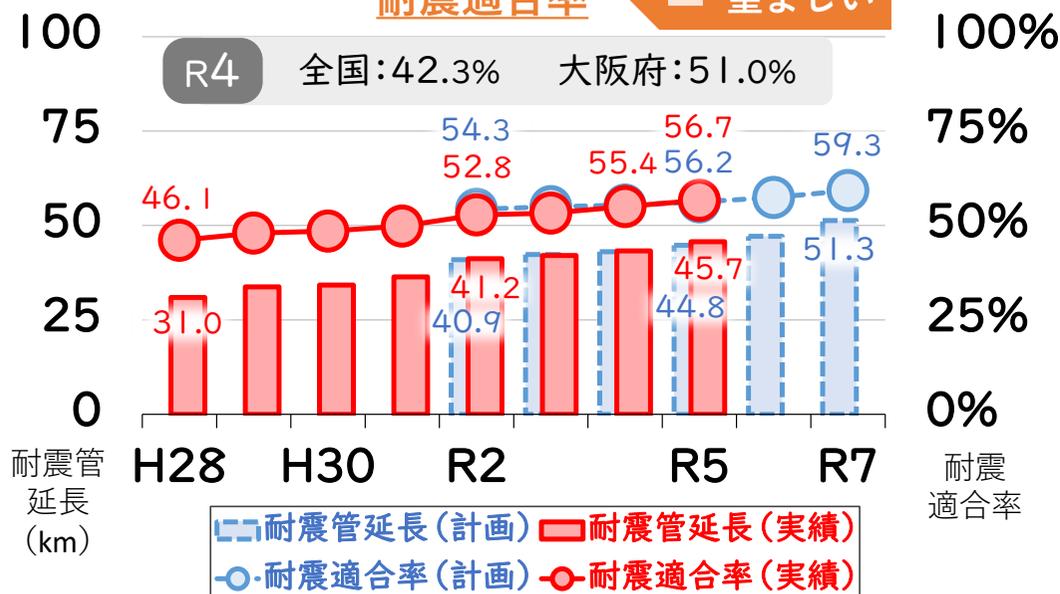
- ✓ マスタープランに基づく水道施設の**再構築**
- ✓ 泉浄水所は将来的に機能停止（片山に機能集約）
- ✓ H28より片山施設更新と片山-泉連絡管布設に着手
 - ➔ 片山を災害に強く、環境に配慮した浄水所へ
 - ➔ 泉区域への安定給水に向けた受水能力増強が必要

事業

- ✓ 片山更新と片山-泉連絡管の着実な工事実施と供用
- ✓ 片山での**拠点**施設に相応しい**場内整備**
 - ➔ 災害時活動拠点であり、市民に親しまれる浄水所へ
- ✓ 南千里分岐-片山送水管整備
 - ➔ 耐震化及び複線化による安定受水の増強

計画と到達点

基幹管路の耐震適合率 ↑ 高い方が望ましい



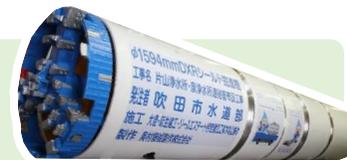
施設

- ✓ 片山浄水所更新 R3供用開始
- ✓ 片山浄水所**場内整備** R3~(施工中)
 - ➔ 旧施設の撤去や跡地造成、応急給水設備など



管路

- ✓ 片山-泉連絡管 R3供用開始
- ✓ 南千里分岐・片山送水管 R3~(施工中)



第14次の意見書

2 災害に強い水道施設・体制

(1)吹田市の被害想定を示した上で、水道施設マスタープランの実現を目指し、能登半島地震等での知見を踏まえた、**災害に強い水道施設・体制**づくりを進めるとともに、管路の更新・耐震化事業のペースアップを検討されたい。なお、水道工事による騒音、振動及び交通規制等の**生活環境への影響等にも配慮**されたい。

強靱

災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

浄水所・配水場の整備と管理の向上を

すいすいビジョン
SUISUI vision
2029

p.39

背景

- ✓ 片山浄水所や津雲配水場の場内管の耐震化に着手
- ✓ 泉浄水所は抜本的更新を留保し、長寿命化の維持管理
 - ➔ 浄配水場の設備等の維持・保守を充実する必要
- ✓ 配水池の耐震化率は90.3% (H30)
 - ➔ 将来的な更新を見据えた調査・検討が必要

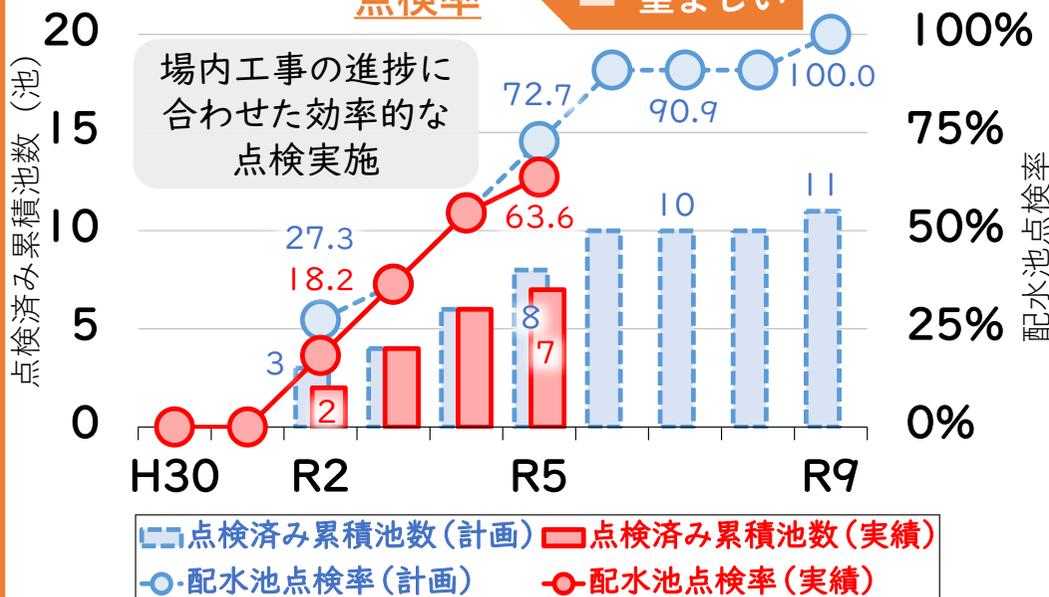
事業

- ✓ 機械や設備等の計画的な更新・取替
- ✓ 各浄配水施設の計画的な保守点検・維持修繕
 - ➔ 配水池の劣化診断と池内清掃の定期実施
- ✓ 機械・電気・計装設備における施設台帳の改良
 - ➔ 効果的・効率的な維持管理に努める

計画と到達点

配水池点検率

高い方が望ましい



更新

- ✓ 新たな契約方式の試行導入
 - ➔ Build (建設) + Maintenance (保守点検)
- ✓ 世界的な半導体不足により一部に調達遅れ
 - ➔ 設備状況に応じて発注時期の見直しなど柔軟実施



点検

- ✓ タブレット端末の導入・活用 (データ化と作業効率化)
- ✓ データの利活用を含めた次期台帳システムの検討



第14次の意見書

2 災害に強い水道施設・体制

(2) 訓練に取り組むとともに、定期的な設備点検を実施することにより、危機対応力の向上を

(3) 水道施設の更新計画の策定に当たっては、水道施設の劣化状況等の合理的な根拠を踏まえた検討を

強靱

災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

水道管の整備と管理の向上を

すいすいビジョン SUISUI vision 2029 p.41

背景

- ✓ 取水場から水道使用者を結ぶ水道管は市内約726km
- ✓ 高度経済成長期に多く建設され、一斉に更新時期を迎える
 - ➔ 法定耐用年数(40年)超過管路率は、37.7%(H30)
 - ➔ 基幹管路は耐震化、配水支管は一定規模で継続的更新が必要
- ✓ 全域漏水調査と迅速修繕実施、マッピングシステムH15導入

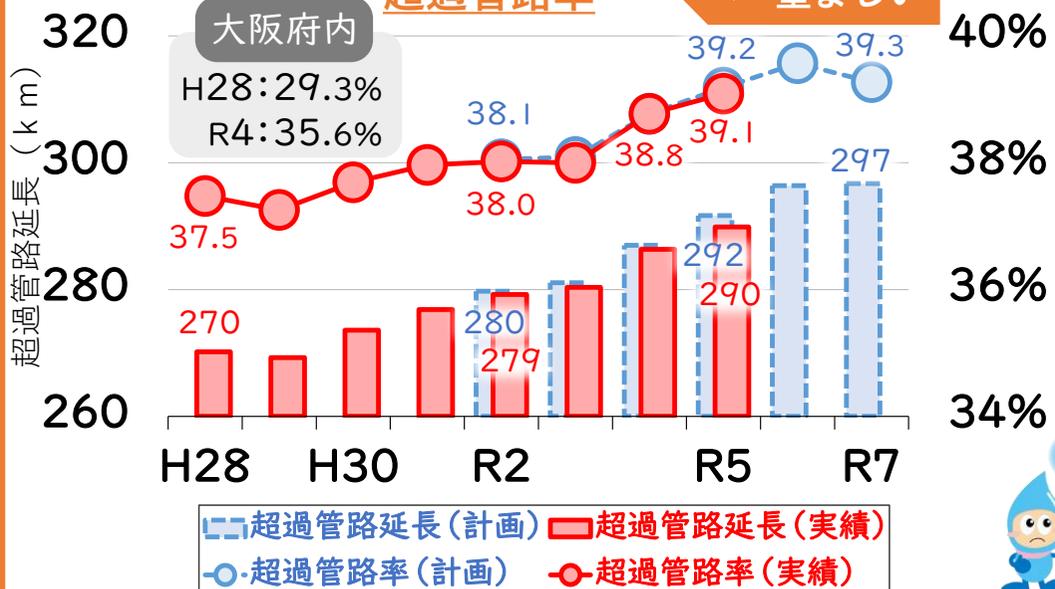
事業

- ✓ 基幹管路は耐震化・複線化・ループ化 2 km/年
- ✓ 配水支管は一定規模を継続的に更新 8 km/年
 - ➔ 優先度は重要給水施設や二次被害リスクなどを加味
- ✓ 河川横断管の点検や計画的管内洗浄など維持管理の充実
 - ➔ 新たな漏水調査手法やデータ利活用の検討

計画と到達点

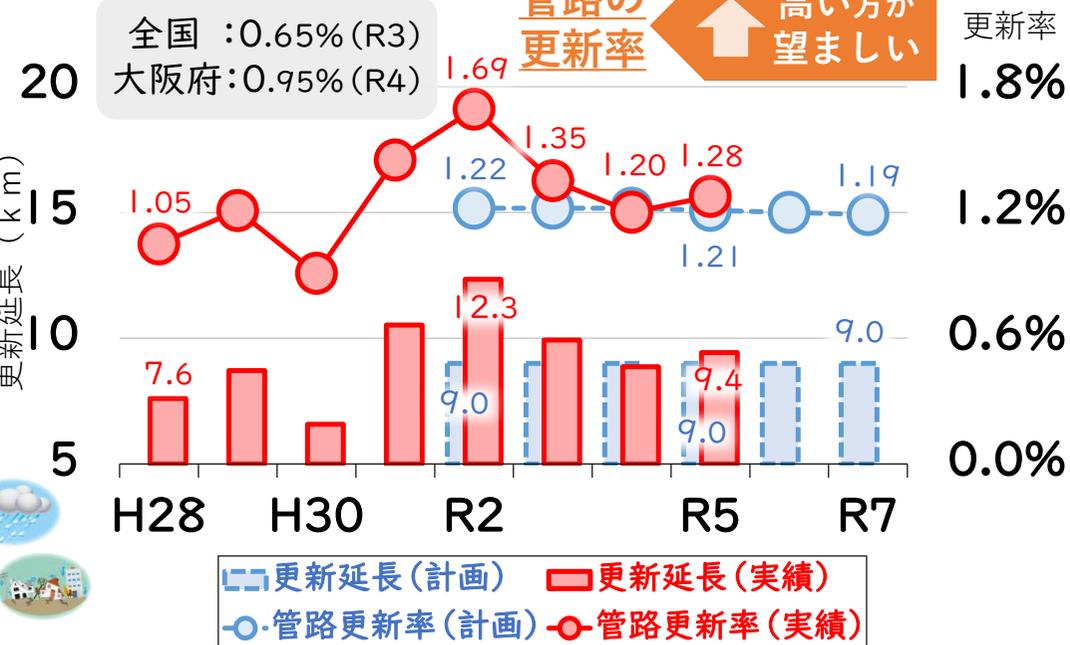
法定耐用年数超過管路率

低い方が望ましい



管路の更新率

高い方が望ましい



第14次の意見書

2 災害に強い水道施設・体制

(1) 災害に強い水道施設を進め、管路の更新・耐震化事業のペースアップを検討されたい。

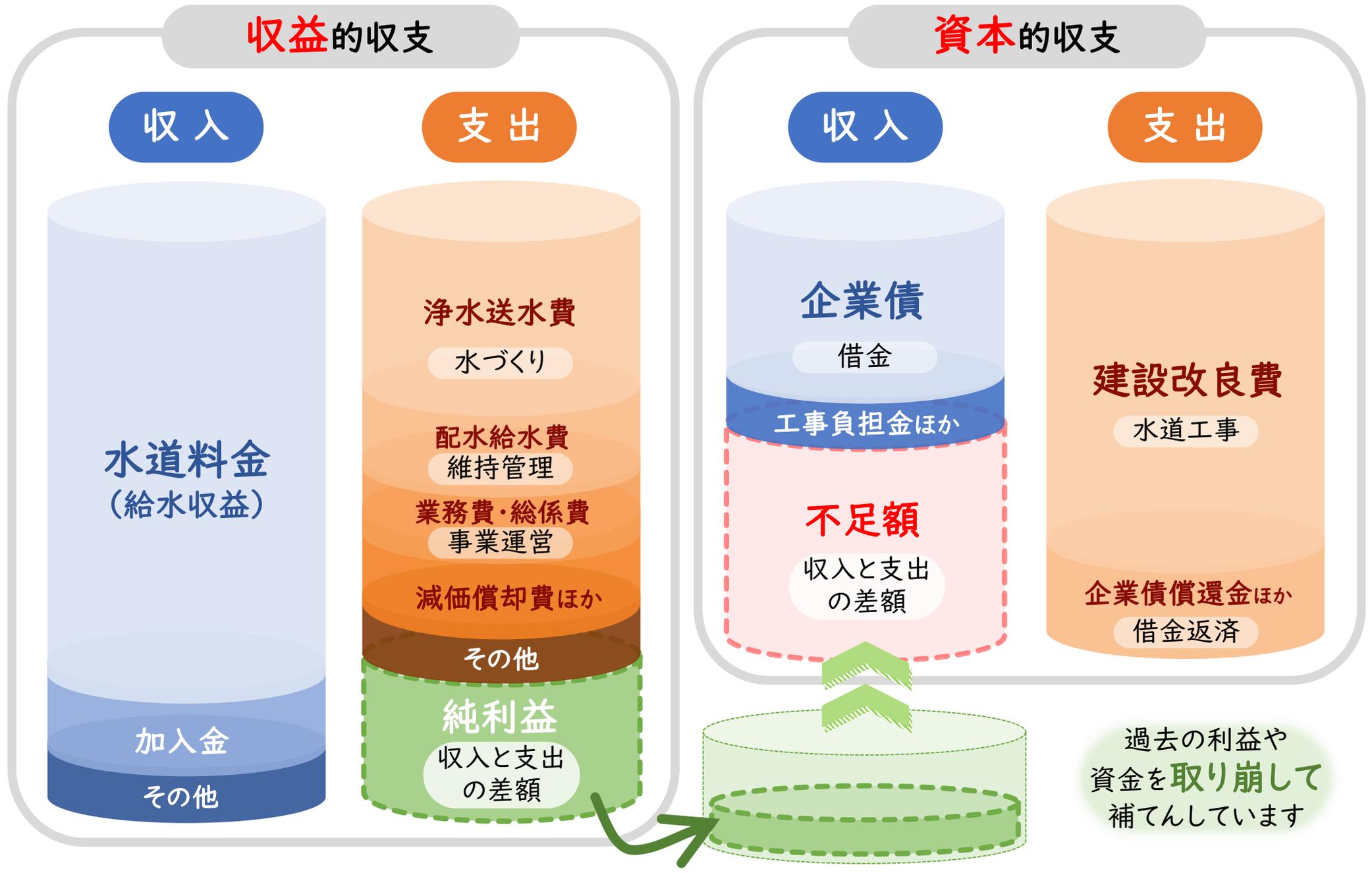
なお、水道工事による騒音、振動及び交通規制等の生活環境への影響等にも配慮されたい。

第15次 吹田市水道事業 経営審議会

第2回

- 本日の趣旨
- 主要な計画の全体像について
 - 水道システム
 - 主要な計画
 - 実施体制
 - ビジョンの見直しに向けた
意見書(第14次)
- 現行ビジョンの4つの方針ごとの
施策と到達点について
 - 安全
 - 強靱
 - 持続
 - 地域
- 今後の予定

水道事業の会計収支イメージ



持続

将来にわたり持続可能な
水道事業の経営

強固な経営の土台を築く

背景

- ✓ 節水機器の普及などによる給水量減に伴う料金収入減
- ✓ 高度経済成長期に急速に発達した水道施設の更新需要増
- ✓ 水道システムの品質確保と効率化に向け、耐震継手を有する水道管やシールド工事など新技術を採用
- ✓ 未利用地の有効活用や企業債の借入れ、広域連携など料金改定 H28(平均10.0%)・R2(平均15.2%)

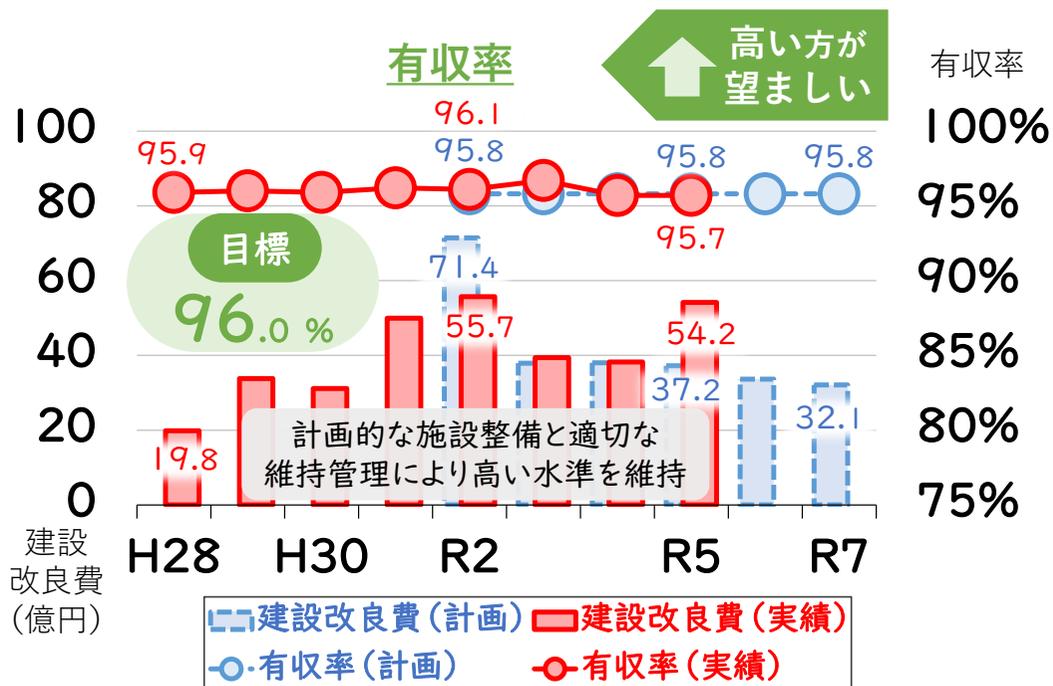
経営基盤の強化に向け、
長期的視点で計画的に事業を運営する必要

事業

- ✓ アクションプランに基づくPDCAサイクルと見える化
- ✓ 定期的な財政推計や経営状況分析など**財源確保**の取組
➡ 世代間の負担の公平性に考慮した適正な企業債の借入規模や国庫補助金の活用に関する検討
- ✓ 持続可能な水道事業に向け、近隣事業者と連携し、施設の統廃合や共同利用、業務の共同発注などの検討
- ✓ **業務の効率化**に向け、
公的責任を果たすことを前提とした官民連携の推進
➡ 窓口業務の包括委託や無減代活動、ICT活用など
- ✓ 技術監理の向上に向け、新技術導入検討など体制確立

計画と到達点

- ✓ 年間を通じたPDCAの内部浸透とすいすいレポート公表
- ✓ 企業債残高対給水収益比率350%を上限とする企業債の適正な活用
- ✓ 基幹管路の布設替えや太陽光発電設備の新設工事など**国庫補助金**の活用
- ✓ 豊中市柿ノ木配水場の共同利用(蓮間配水場の更新費用削減)や合同防災訓練、府域一水道に向けたあり方協議会への参画(**広域連携**の取組)
- ✓ 配水池のロボット清掃や工事資料のデジタル化(**ICT活用**)



持続

将来にわたり持続可能な水道事業の経営

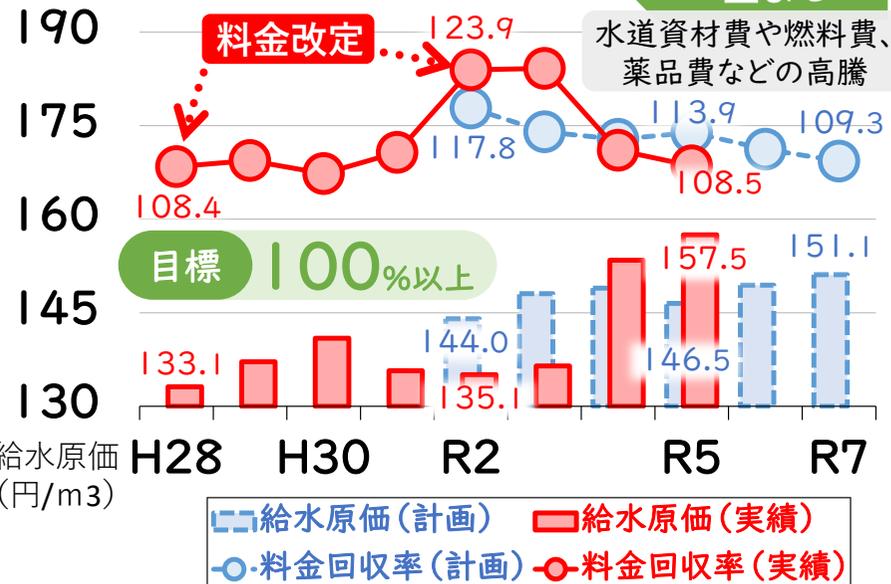
強固な経営の土台を築く

計画と到達点

料金回収率

高い方が望ましい

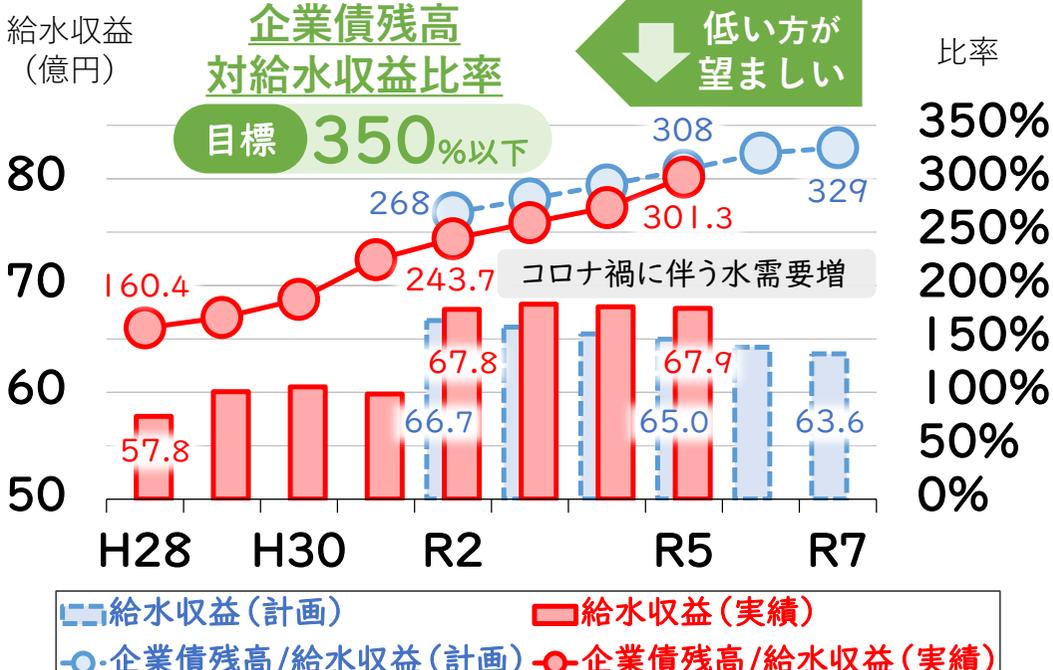
水道資材費や燃料費、薬品費など的高騰



料金回収率
130%
100%
70%

企業債残高対給水収益比率

低い方が望ましい



給水収益 (億円)
80
70
60
50

比率
350%
300%
250%
200%
150%
100%
50%
0%

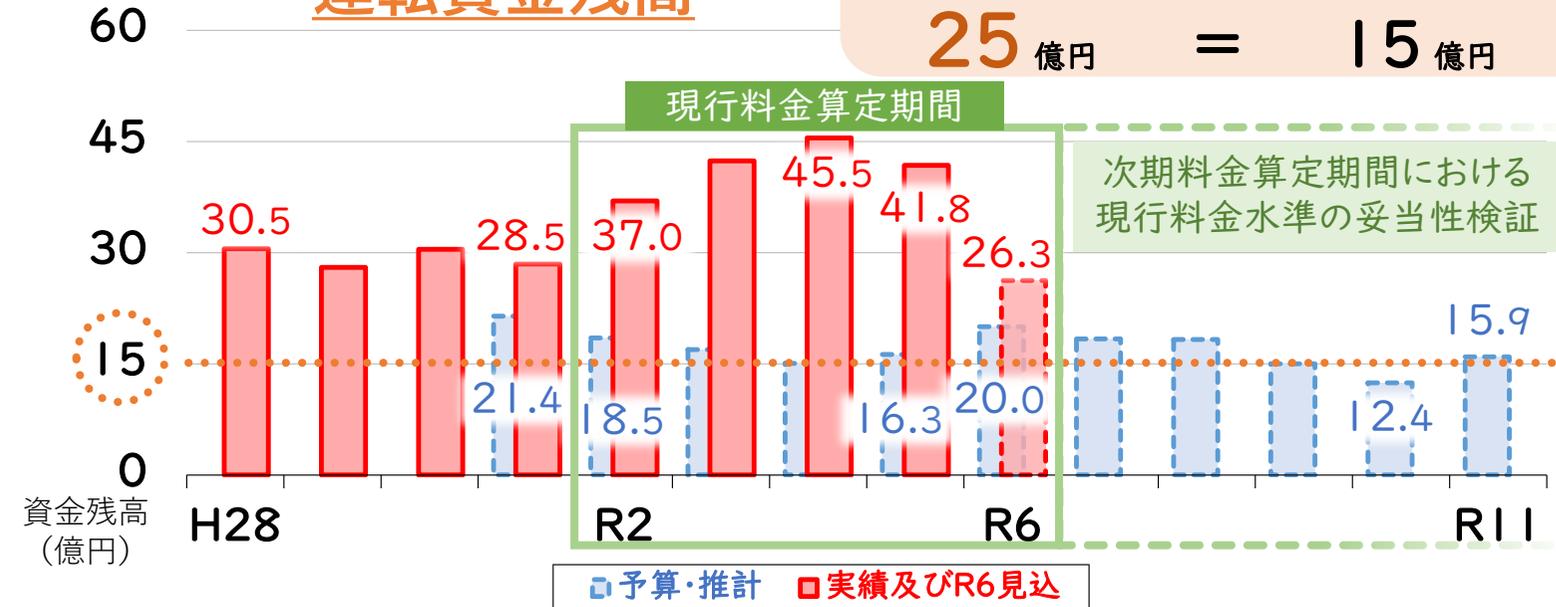
運転資金残高

目標

最低限必要な金額

災害時の備え

25 億円 = 15 億円 + 10 億円



すいすいビジョン SUI SUI vision 2029 p.75

- ✓ 物価高騰など費用は増加したものの推計を上回る収入を財源に運転資金を確保
- ✓ 今後の厳しい経営環境は避けられず、安定経営の持続に向け、より効率化・効果的な事業を推進していく必要

第14次の意見書

3 健全経営の持続

- (1) 国土強靱化基本法の改正とともに**国庫補助**の制度改正の動きを注視し、強靱化に向けた**水道料金収入以外の財源確保**を
- (2) 水道事業は、独立採算により**健全経営を持続**することが原則。エネルギー費用の高騰や物価上昇など、今後の**収支見通し**の悪化要因が散見される中、**様々な取組を実施**した上で、なお健全経営の持続が見通せない場合は**料金改定の検討**を
- (3) 今後、**料金改定の必要が生じた場合には、受益者負担の原則に基づき、引き続き逡増度の緩和**を検討されたい。一方で、水道は生活に必要不可欠なものであるため、**小口使用者に対しても十分に配慮**を
- (4) **企業債**の発行は、昨今の長期金利の上昇など状況の変化が見られる一方で、物価高騰などに伴う**工事費の増大への対応が必要**となる状況も考えられるため、**多角的な視点**で検討を



4 広域化・官民連携

- (1) 平成23年(2011年)に大阪広域水道企業団が設立されて以降、大阪府内43市町村のうち、14市町村の水道事業が統合されており、**府域一水道**を目指して進められている。今後も府内の動向や隣接事業者との施設統合などの連携状況について、**情報提供**に努められたい。
- (2) **広域化や官民連携の取組**については、その**効果額の見込みや定性的なメリット、デメリット**などを十分検証されたい。また、安易な民間委託は行わず**公による事業継続**を

7 DX(デジタル活用)

- (1) **スマートメーターの普及は、検針作業の軽減**につながるなどから、引き続き**効果的な導入の検討**を
- (2) **DXを推進**することで**効率的な事業経営**に努め、コスト面を含めそれらの**効果の見える化**を図り、収支ギャップの縮減を
- (3) 情報漏洩やサイバーテロ等の**セキュリティ対策**について、**マニュアル整備や訓練**等を

持続

将来にわたり持続可能な水道事業の経営

人を育て、強い組織を築く



背景

- ✓ 事業の効率化の結果、職員数はH6:196人→H30:121人
- ✓ 特に技術職において高齢化や団塊世代の退職が多い
 - ➔ 豊富な経験と高い技術・技能を有する職員の大幅減
- ✓ 水道施設の更新需要の増加と危機対応力の低下が懸念
 - ➔ 技術研究の発表や企業間との人事交流

事業

- ✓ 「現場力」の向上を目指し、必要なマニュアルの作成と経験年数などに応じた研修
 - ➔ 技術の継承と段階的な人材育成
- ✓ 事業進捗や業務量に見合った組織編成の定期的な見直し
- ✓ ワークライフバランスの確保に向けた取組推進

計画と到達点

- ✓ 技術職員の「現場力向上方針」及び若手職員の育成に特化した実行計画「target」の策定・運用

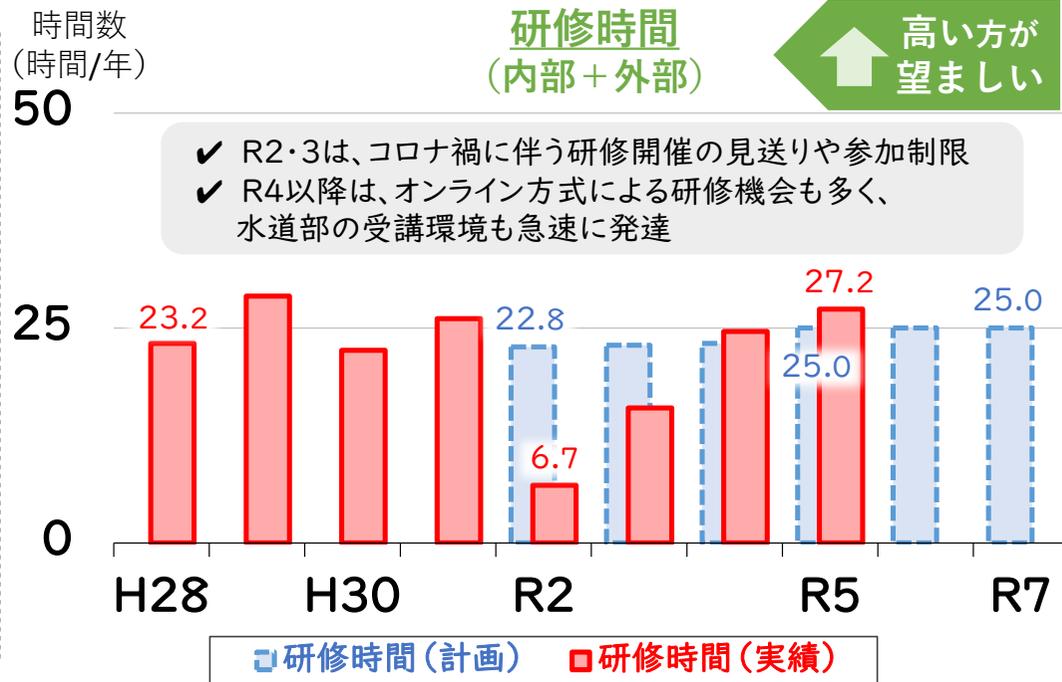


- ✓ 部内インターンシップの実施
- ✓ 給水タンク車運転に必要な準中型免許の取得推進

研修時間

(内部+外部)

高い方が望ましい



- ✓ R2・3は、コロナ禍に伴う研修開催の見送りや参加制限
- ✓ R4以降は、オンライン方式による研修機会も多く、水道部の受講環境も急速に発達

第14次の意見書

2 災害に強い水道施設・体制

(4) 災害を想定した机上訓練の実施など、担い手の育成を

5 人材育成・技術技能継承

(1) 人材は必要不可欠な経営資源であり、過度な合理化は必要な業務執行の停滞など安定給水の阻害要因につながる懸念

(3) 持続可能な事業運営に向け、小学校や中学・高校など将来世代へのPRを工夫・強化し、将来的な人材確保を

7 DX(デジタル活用)

(5) デジタル人材の配置や育成など、技術技能の継承の観点も踏まえて示せ

持続

将来にわたり持続可能な水道事業の経営

みんなの地球環境を守る

すいすいビジョン SUISUI vision 2029 p.51

背景

- ✓ 水道事業の消費電力は国内総電力消費量の約1%
- ✓ 本市は南北に長く、北部から南部に低い(標高差100m)
 - ➔ 可能な限り自然流下や受水圧の有効利用など推進
- ✓ 環境負荷低減を目指した「吹田市役所エコオフィスプラン」
 - ➔ LED照明やコピー用紙の有効利用など全庁的な取組

事業

- ✓ 受水エネルギーを活用した土地貸し方式の**小水力発電**
- ✓ 更新時など機会を捉え、費用対効果を考慮し、**省エネ機器**へ
- ✓ **配水ポンプ**の運転時間短縮や**工事廃材**のリサイクルなど引き続き実施
- ✓ 水環境保全への啓発活動や環境配慮への**職員意識向上**

計画と到達点

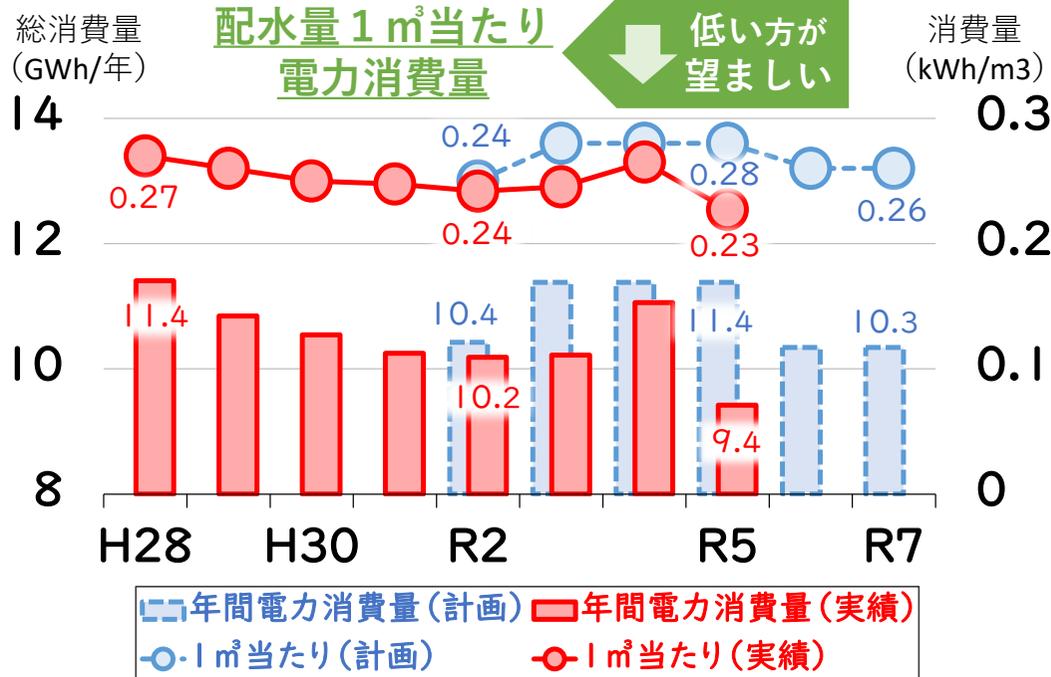
- ✓ 津雲配水場の**小水力発電**開始(佐井寺配水場はR1~)
- ✓ 片山浄水所及び津雲配水場における**太陽光発電**開始
- ✓ 部庁舎照明**LED化**完了
- ✓ **EV車**の導入
- ✓ 片山浄水所を拠点とした**再構築**の取組
- ✓ 蓮間配水場の**更新**に係る環境負荷削減



太陽光発電

片山

津雲



第14次の意見書

5 GX(環境)

- (1) 水道事業はポンプの動力などエネルギーを多く消費する事業であるため、吹田市の計画と整合を図りつつ、**再生可能エネルギー**を積極的に活用するなど、**総電力量**や**CO₂排出量**を減少させるための工夫を
- (2) 環境対策の取組効果の**見える化**を図り、広く多角的に**将来世代の視点**も取り入れながら検討を

第15次 吹田市水道事業 経営審議会

第2回

- 本日の趣旨
- 主要な計画の全体像について
 - 水道システム
 - 主要な計画
 - 実施体制
 - ビジョンの見直しに向けた
意見書(第14次)
- 現行ビジョンの4つの方針ごとの
施策と到達点について
 - 安全
 - 強靱
 - 持続
 - 地域
- 今後の予定

地域

吹田らしさを活かした
市民に身近な水道事業の運営

使う人に便利で快適なサービスを

すいすいビジョン
SUISUI vision
2029

p.53

背景

- ✓ 口座振替割引、コンビニ収納、開閉栓の電子申請導入済
- ➡ インターネットやスマホなどを用いたサービスは不十分
- ✓ 高齢者世帯の水道相談、声掛け、認知症サポーター取組済
- ➡ 取組の周知などにより効果を高める必要
- ✓ 速やかな水質検査や安全性PRなど不安解消を図る必要

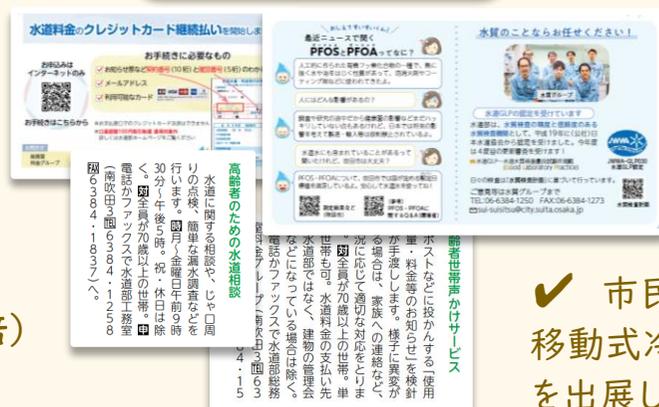
事業

- ✓ 水道料金のクレジットカード決済の導入と取組の周知
- ✓ 給水装置の相談・苦情対応における他部署との連携強化
- ➡ より身近な相談窓口としてのサービス充実
- ✓ 水質検査の速やかな実施・説明や鉛製給水管の解消に向けた助成金交付など水道水質に係るサービス充実

計画と到達点

市報など周知の様子

- ✓ **クレジットカード決済 R5導入**
- ✓ **スマホ決済 R2導入**
- ✓ **高齢者給水相談 R5:219件 (H30のおよそ3倍)**



- ✓ 市民の関心度の高い**PFAS**(有機フッ素化合物)について、問合せの多い事柄などを多様な媒体を活用して**情報発信**

- ✓ 市民体育祭など地域のイベントに移動式冷水給水機「**スイスイサーバー**」を出展し、水道水の**安全性**をPR



第14次の意見書

1 飲み水の安全

- (1) 今後も水処理における水質管理を徹底し水道水の安全性を確保するとともに、**安全でおいしい水のPR**の充実を
- (2) **有機フッ素化合物(PFAS)**や**浄水処理対応困難物質**などの、新たなリスク要因に対し、情報収集や適切な体制の構築を図るとともに、**対応策**などについて、**情報発信**を



地域

吹田らしさを活かした
市民に身近な水道事業の運営

市民といっしょに水道を考える

すいすいビジョン
SUISUI vision
2029

p.55

背景

- ✓ すいどうにゅーすの年2回全戸配布、HP・イベントで情報発信
➡ 若い世代の認知度が低く、広報の充実を図る必要
- ✓ 市民アンケートや水道いどばた会議など広聴の取組
- ✓ 今後の水道事業を担う職員の意識醸成や、市民とともに「未来につなぐ」水道を考える取組が必要

事業

- ✓ 漏水・濁水等の事故時や災害時の情報発信をはじめ、SNSなど活用した効果的かつ**戦略的な広報**
- ✓ 広聴の継続とともに、市内の大学と連携し、イベントやアンケートなど学生を対象とした取組の実現
- ✓ 「フューチャー・デザイン」の手法を取り入れた部内研修や市民ワークショップの開催などを推進

計画と到達点

- ✓ 広報活動の目的と方向性を示し、具体的かつ戦略的に実施する方針「**広報コンパス5D**」策定
- ✓ **フューチャー・デザイン**に関する大阪大学との連携
➡ 市民アンケートや部内ワークショップの実施



- ✓ 広報誌やSNSなど中心に、動画やQRコードなどを活用した情報発信



- ✓ **若年層**への事業PR手法に関する大阪学院大学との連携
➡ インターンシップや大学祭でのPR、動画配信など



第14次の意見書

7 DX(デジタル活用) (4) **災害時等の情報発信**は重要であり、デジタル技術による防災力の向上を

8 すいたの水道

- (1) 水道利用者の理解を得るため、**合理的根拠**をもって分かりやすい**広報と広聴**に努め、幅広く意見を取り入れる仕組みを
- (2) 水道いどばた会議など、水道事業者と水道使用者が**直接意見交換**を行う場をより積極的に開催し、更なる**相互理解**を
- (3) 引き続き若年層から高齢者層まで**全世代に伝わる情報発信**を



第15次 吹田市水道事業 経営審議会

第2回

- 本日の趣旨
- 主要な計画の全体像について
 - 水道システム
 - 主要な計画
 - 実施体制
 - ビジョンの見直しに向けた
意見書(第14次)
- 現行ビジョンの4つの方針ごとの
施策と到達点について
 - 安全
 - 強靱
 - 持続
 - 地域
- 今後の予定

